

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	FC.LIG		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援内容、活動内容	・2ヶ月前より近隣の体育施設の予約を行い運動スペースの確保に努めています。 ・運動面だけでなく集団生活や自立に向けての課題も保護者様と共有し、活動の中でアプローチできる活動内容を日々考案しております。	・事業所内だけでなく社会に出た時の過ごし方を学べる環境づくり。
2	・保護者様との連携	・怪我はもちろん、お子様同士の小さなトラブルや様子について、お帳面や送迎時に都度共有させていただいております。 ・必要に応じてお電話やLINE、面談の場を設け情報共有を行っております。	・学校や他事業所などお子様に関わる機関とより連携を深めることでさらに充実した支援ができるよう対応してまいります。
3	・お子様の充実感、安心感	・サッカーという競技を通じて支援を行うことでご利用されているお子様にとっても「できた」を実感しやすい環境を目指しています。 ・お子様が「FC.LIGに行きたい」と思えるよう、まずはスタッフとの関係性づくりに着目し、コミュニケーションを図っています。	・お子様同士のコミュニティを広げることで、事業所関係なく心の拠り所を見つけることができるよう、居場所づくりのお手伝いを行なっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・緊急時(災害時)の対応について	・災害発生時など、どのように動いたらいいかスタッフ間での検討、訓練は行われているがご利用者様への周知が徹底できていない。	・災害時の対応について定期的に発信を行い、特に考慮があるお子様については保護者様と直接情報交換を行うことで安心して通所してもらえる環境づくりに努めます。
2	・進学、進級に伴う支援体制の充実	・サッカーの技術力向上を目指すお子様や、進学に伴い現在の活動時間での通所が難しくなるお子様が代替案の提案ではなく、退所という選択になってしまっている。	・地域のサッカークラブと連携を図ることで橋渡し役となり社会への参画へつなげたり、活動時間の見直しを行うことで多くのお子様にも事業所を利用いただけるよう検討してまいります。
3	・外部評価	・支援に対する保護者様からの声は日々届いているが、運営業務も含め事業所としての運営体制に対する評価をしていただく機会がないため改善点が自分たちで見つけるのみになってしまっている。	・他事業所のスタッフとの交流などを通じて事業所の強み、弱みをそれぞれが認識した上で業務にあたることできるようにスタッフ間でのコミュニケーションを大切にまいります。